年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年 4 月 7 日
● 事　業　名　：プロの芸術家による表現ワークショップを通じた当事者の交流及び共同創作事業
● 資金分配団体　：特定非営利活動法人まちぽっと
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
①1-1.児童養護施設や、地域の子ども食堂等と連携して、当事者が参加する継続的なワークショップを実施。	・実施施設等の数 ・実施日数(交流を含む発表会の日数を含む) ・参加者数	・児童養護施設 1、子ども食堂等 2 ・実施日数 13 日・参加者数 50 人	2021 年 3 月	・子ども食堂と連携したワークショップ 1 か所 ・実施日数 計 6 日 ・延べ参加者数 35 人	2
②1-2.2-1. 2 年目に、各実施場所での取り組みを施設等の間で共有し、職員同士や子どもたちの交流を図る。	・実施施設等の数 ・実施日数 （交流ワークシ ョップと成果発表会含む） ・参加者数	・子ども食堂等 3 ・実施日数 13 日 ・参加者数 50 人	2022 年 3 月	・子ども食堂と連携したワークショップ 2 か所、母子生活支援施設 1 か所 ・実施日数 計 14 日	2

				・延べ参加者数 88 人	
③1-3.2-2.3-1 交流を含むワークショップと発表会を行い、当事者の社会参加を促し自立を支援する。 記録冊子を発行する。	・実施施設等の数 ・実施日数 （交流ワークシ ョップと成果発表会含む） ・参加者数 ・発表会の観覧者数 ・記録冊子の発行部数	・児童養護施設 1、子ども食堂等 2 ・実施日数 14 日 ・参加者数 50 人 ・発表観覧者数 50 人 ・記録冊子 3,000 部発行	2023 年 3 月	（2022 年度実施予定）	2
④3-2 施設や連携団体の職員、参加者へのアンケート、ヒアリングなどを通して、 評価委員と事業評価を実施。改善点や新たな課題を明らかにする。	・回答者(施設職員、子ども食堂等運営者、当事者、発表観覧者)の満足度 ・評価委員を交えた評価会議の実施	・回答者の満足度 80% ・評価会議の実施回数年 1 回	2023 年 3 月	・回答者の満足度 2020 年度：実施後アンケート 91.7%（子ども食堂等運営者） 2021 年度：当事者アンケート 97.2%、実施後アンケート 100%（施設職員、子ども食堂等運営者)、発表観覧者アンケート 96.6% ・評価会議 2 回	2

⑤ワークショップ等の開催を特定の会場で実施することが困難な場合は、オンラインでの開催を試行し事業活動の円滑化を図る。	・開催の可否、開催数、参加者数	・開催数 5 回、参加者数 20 人	2021 年 2 月	2020 年度にオンライン WS のテストを実施済。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
2020 年度に引き続き、子ども食堂等を利用している、ひとり親家庭や困窮家庭の子どもたちを対象にしたワークショップを 2 グループ対象にして実施。一つは昨年度からの継続メンバーに新規メンバーを加えて演劇に取り組み、もう一つは 2021 年度新たに中高生を対象にしてダンスのワークショップを行った。後者は、ネパールをルーツに持つ子どもたちも参加して、ネパールと日本の多文化交流の場にもなった。また 2021 年度の最終回には 2 グループ合同の発表会を実施。参加者の保護者のほか、日頃から子どもたちの支援に携わる地域の様々な大人たちが観覧した。当事者同士や、子どもたちを支援する関係団体との交流の場をつくることができた。 また、並行して母子生活支援施設でのワークショップがスタート。今後、当該施設がある地域に暮らす元利用者なども対象に、事業を継続していきたいと考えている。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・当初は、既存の子ども食堂の活動時間や場所の中でワークショップを実施する想定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、お弁当を配布する形にするなど子ども食堂が通常の運営方法と異なっているため、2020 年度に引き続き 2021 年度も、ワークショップでは対象となる子供たちを別の機会に集めて実施するようにしている。集団での活動も制限されがちな状況において、対象を絞ったグループで一つの創作に取り組むことで、子どもたち同士の関係性が深まりやすいなどの利点があった。

③広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）：無し 2.広報制作物等 ・参加者募集チラシ（PDF 添付）2021 年 7 月作成。 事務局スタッフがデザインして印刷。WAKUWAKU ネットワークを通じて対象となりそうな子どもたちに配布。 ・合同発表会ご案内状（PDF 添付） 2022 年 3 月作成。事務局スタッフがデザインして印刷。WAKUWAKU ネットワークを通じて関係者に配布。集客につなげた。 3.報告書等：無し 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）：無し

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　　☑整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☐全て公開した　☑一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：規定整備中のため。2022 年 7 月公開予定。
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： 現時点で変更はありません。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☑ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

写真 1 ：ダンスのワークショップ

写真 2：母子生活支援施設での音楽ワークショップ

写真 3：演劇グループの発表の様子